

短歌

末武 有二 選

振り袖に装う孫は成人式その母屈み草履見て  
やる 安永 守住 孝子

震災にあらゆるものを失った苦難の続く被災  
地思う 惣領 島田 廣子

母が書く子の就職を願う絵馬受験祈願に混じ  
りて掛かる 惣領 垣野 幸一

避難所の昼と夜とがよみがえり能登のニュー  
スに胸ふさがれる 木山 赤城 香織

鞆は今日も来ている菜園に共に喰みつつ暮ら  
し行く日々 馬水 倉本研一郎

震災の復興終えた四車線黄色い帽子手を上げ  
渡る 惣領 甲斐 道夫

どんどやは竹音立てて舞い上がる無病息災共  
に祈ろう 広崎 日野ヒロ子

どんど焼残り火広げ餅を焼く平和を願う楽し  
い習い 赤井 増岡 伸禧

水仙の甘い香りにいざなわれ庭を一周春を探  
しに 広崎 大原 郁

庭の梅春待ちわびて咲き誇り笑顔満開まこと  
嬉しき 馬水 増田 訓子

フカフカの毛布の内で見えた夢は逝きた愛猫抱  
いている夢 木山 本田 龍子

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

春近し今年も萌えた露のとう  
春耕や老女一人の耕うん機 馬水 増田 訓子

下校児の声の散りゆく春田かな  
えり巻きに肩をすばめる風が吹く 木山 鎌田 隆子

大相撲絵になる綱の土俵入り  
えり巻きもシューズも色は春の色 熊本市 境 眞木子

冬芽はや膨らむ命見えにけり  
見覚えの釣竿さばき朝霞 赤井 増岡 伸禧

枯草の阿蘇より春の立ちにけり  
一句鑑賞 赤井 増岡 伸禧

鎌杖に憩えばはるか鶴帰る  
一句鑑賞 赤井 増岡 伸禧

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠

再会の笑顔と装に包まれて 富壽市 長友 幸憲

寝坊助がパツと飛び出す雪の朝 木山 本田 龍子

老い二人キャッチボールに興じけり 古閑 今村 恒心

初詣少しはずんだ御賽銭 広崎 大石 高義

『お題』 中国 赤井 増岡 酔粋

中国は近くて遠いお国です 木山 遠山めがね

中国とロシアにすぎる北朝鮮 赤井 増岡 酔粋

中国の爆買い夢ももう一度 木山 遠山めがね

中国の軍備がこわいアジアかな 赤井 増岡 酔粋

次回のお題 「地震」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場  
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財  
町文化財保護委員会

宮園

か  
田搔きの地藏

宮園居屋敷にある地藏堂は、周  
辺に積まれた石造物から、元々後  
木山氏の菩提寺である道安寺境内  
の一角にあったもので、15世紀末  
ごろまでに建立されたと考えられ  
ています。その地藏堂が、益城中  
央被災市街地復興土地地区画整理事  
業により移転することとなり、地  
区の皆さんの努力で新しい宮園公  
民館前に移されました。

この地藏は通称「田搔きの地藏さ  
ん」と呼ばれており、「信仰心の厚  
い百姓の仁助が、一人で苦勞しな  
がら田搔きをしていると、見知ら  
ぬ小僧が来て手伝ってくれた。作  
業が済んで、いつも通り地藏堂の  
掃除に行くと、お堂に泥の足跡が  
あり、仁助は手伝ってくれた小僧  
がお地藏さんだったことに気付い  
た」という民話が伝わっています。

町には神仏堂が各地にあります